

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



神村分教会

大正8年4月10日 設立

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。

つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。

実践
項目

毎日、喜び・感謝を声に出そう



立教188年
4月号

鼓笛合同練習会 開催

少年会

笠岡団(森本忠善団長)は笠岡団笠岡



練習の様子



美味しい昼ごはんを準備して下さいました食堂の奥様方にお礼を！



みんなでお楽しみ行事で盛り上がってます！

むつみ鼓笛隊の合同練習会を3月23日に大教会で開催致しました。総員48人で賑やかに、楽しくこどもおちばがえりソングの「ありがとう、夏のおちば」を練習しました。午前中

はパートごとに練習をして、お昼は食堂の方々の愛情たつぷりの美味しい食事を頂き、午後からはアトラクション担当スタッフによるお楽しみ行事で盛り上がりました。締め括りに4月1日

のおつとめまなび総会でのお供え演奏に備えた練習をしました。夏のこどもおちばがえりでの演奏も楽しみにして下さい。

(団長 森本忠善)



ブルーシートで折った鶴



いざ式典へ

春の学生おぢばがえりに
学生32名が参加

学生会・学担



ロープで絵を作る



人間知恵の輪

笠岡学生担当委員会(上原繁次委員長)は、3月27・28日に、春の学生おぢばがえりを実施した。
笠岡単独で団体を組むようになって

初日は、班内の交流を深めるため、ブルーシート折り鶴や、人間知恵の輪、ジェスチャーゲームなどのゲームラリーが詰所内で行なわれた。また、夕つとめ後には、西泉水プール前広場にて、前夜祭『春フェス』が開催され、模擬店やステージショーなどで盛り上がった。

2日目の式典では、真柱様からのメッセージ、学生による決意表明や感謝があり、一人一人が年祭活動に対して、思いを新たにしました。

午後からは、『直属アワー』の時間が設けられた。各教区団体から参加の笠岡の学生も加わり、大教会長様から学生に向けて、信仰をテーマにお話があった。その後は、室内オリンピックが開催され、和やかな雰囲気となった。

学生らは、2日間を通して、同じ笠岡に繋がる学生同士の絆を深め、お道の学生としての自覚を高めた。(学担委員長 上原繁次)

からは3回目の今回は、高校生、大学生、専門学校生ら32人と、スタッフ11人、合わせて43人が参加した。



直属アワー集合写真



一所懸命鳴り物を取り組む少年会員

少年会笠岡団(森本忠善団長は4月1日(火)に笠岡団おつとめまなび総会を開催しました。少年会員153人、育成会員139人、計292人が参加した。育成会長(大教会長様)、奥様のご臨席を頂き、三殿遥拝、その後育成会長様よりおつとめについてお話し頂きました。おつとめの大切さを改めて感じさせて頂き、座りづとめとよろづよ八首、五下り目から八下り目まで鳴り物を入れて参加者全員でつとめさせて頂きました。

おつとめまなび総会

開催

少年会



模擬店を楽しむ人たち

おつとめまなび終了後、式典にて育成会長様は「感謝する」「ありがたい」と思う気持ちを忘れない」と言う事を伝えられました。そして全員で「少年会の歌」を唱和した後、隊長任命にて隊長バッチの授与、最後に「わかぎ門出式」が行われ、今年で中学校を卒業した6人に団長より記念品授与、そしてこれから育成会員になっていく子たちにお祝いの言葉を贈られました。式典の最後に鼓笛お供え演奏が行われました。隊員一人ひとりが一所懸命に演奏する姿に感激を受け演奏終了後には会場から大きな拍手が贈られました。



抽選会にて1等を当たりました！

昼からは各ブロックで準備してもらった模擬店で、射的やスーパードールを楽しみながら、美味しく頂きました。ステージでは少年会委員からの出し物や青年会による漫才、そしてダンス発表などをさせて頂き会場の皆さんを楽しませて下さいました。最後には毎年恒例の抽選会が行われ、今回のおつとめまなび総会も無事に終える事ができました。各ブロックやそれぞれの係で準備して下さった方々、お忙しい中本当にありがとうございました。

(委員 丸山智旬)

女子青年委員長変更

婦人会

婦人会笠岡支部(上原愛美支部長)は、4月1日付けで、女子青年委員長を、岡崎真実さん(大教会直轄)から山野哉実さん(上下)に変更しました。

女子青年は、親神様から頂いた女性としての特性を活かし、素直なやわらかい心で、おたすけのできるようぶくとして育っていくために、「女子青年活動のかどめ」として、

一、教会へ参拝しましょう

一、ひのきしんをしましょう

一、にをいがけをしましょう

の3つを掲げ、本年の「課題」として、○教祖のひながたを学び実行しようを掲げています。

また、来年11月1日に開催される「第31回女子青年大会」を区切りとして活動を推進していますが、笠岡支部では、毎月20日に「伏せ込みひのきしん」を実施、本年11月23日に「こかん様に続く会」を予定していますので、奮ってご参加ください。

第6回目の桜祭り

賑やかに開催

海外部

第6回目の桜祭りは有志スタッフを始め、笠岡市内外の約430人の来場者を迎え、好天と満開の桜のご守護を頂いて、賑やかに開催させて頂く事が出来ました。

多くの方のお心寄せでバザーの品が集まり、有志の方々のご尽力を得て物品整理、会場準備、設営を整える事が出来ました。当日は模擬店・バザー会場に加え、和太鼓・マジックショー・抽選会などアトラクションを大勢の方が楽しんで下さいました。

さて、今回の収益金は約30万円程となりました。10万円を能登半島地震復興支援の4回目の炊き出しの支援金



アトラクションを楽しむ来場者



駆けつけたケニアからの修養科生



自分達でお店を開店！子供ふろしき市

に、残りをアフリカ孤児支援金とさせて頂きます。今年はケニアにヤギを寄贈させて頂くことが決まっています。有難うございました。

(海外部長 上原 志郎)

参加者の声

▼青年会委員長 瀬藤 大喜

青年会として初めて模擬店に出店させて頂けました。

桜満開の大教会に炭火の匂いを漂わせ「梅しそ豚串」(とある居酒屋の絶品メニュー)を出店させて頂けました。

前日、青年会員さんと協力して手作業で仕込みました。当日も若い世代の方々とつながりひのきしんさせていただけました。

実は今回の参加には「支援の想いに賛同した」という事に加え、10月25日に行われる本部青年会総会の後夜祭に出店する為の試験的な取り組みでもありました。

出店してみて、実際に動けば改善点など次につながる事が沢山見えてくるということを実感しました。

次が見えてくる事で見通しが立ちます。見通しが立つ事によって目標にしていることへのやる気の炎が点火します。

支援の思いで初参加させて頂けましたが、結局は自分達にとつても貴重な経験をさせて頂いただけでした。海外部の皆様、誠にありがとうございました。また来年も出店させていただきます。

▼吸江分教会 西村 由理子
4月6日、最高の桜日和の中、第6回桜祭りバザーが盛大に開催されました。

その準備期間中より、私にとって嬉しい出来事があったので紹介したいと思います。

遡ること昨年2月、「能登支援に行きます」と同級生に呼びかけると、大勢の友人から支援金や炊き出しの材料が届きました。

被災地から帰って、お礼状と共におちばの枝垂れ桜の載ったいきいき通信を送ると、その中から1人、来春ぜひ天理に行つて実物が見たいというメールが来たのです。

それから1年後、関東より笠岡へ帰省する途中、本部参拝し念願の枝垂れ桜を観て、小学生の頃こどもおちばが

えりでお世話になったという記憶を辿り笠岡詰所にも立ち寄り、先日のバザー参加となりました。

そして数日後には「おちばやバザーを見て、たった2百年の間にこれだけ勢いよく広域に根を張った天理教の力強い広がりを感じています。そして、陽気ぐらしという教えに感銘を受けました」との感想を寄せてくれました。

また、花の苗をたくさん提供してくれたママ友からは「韓国ドラマで見て気になっていたトッポギを買い、友人と花見をしながら食べました。来年も楽しみにしています」と、メールが届きました。



いつも人気の花苗売り場

本当に、数日間の準備で、これ程までに地域に根差し大勢の方々に喜んで頂けるバザーが開催できたのは、スタッフ皆さんの一手一つのひのきしんの賜物だと思っています。
 本当にお疲れ様でした。また来年がんばりましょう♡

大教会だより

Ⅱ 教会指令 Ⅱ

◎任命願

國 須 分教会

＊前任 橘 高 祐 高

＊新任 小 西 陽 司

☆奉告祭 立教188年6月15日

立教188年3月26日承認

◎春の学生おちばがえり

詰所受入ひのきしん

自 立教188年3月26日

至 立教188年3月27日



小西陽司氏



- ・東ブロック
吸 江 西 村 健
- ・西ブロック
品 治 渡 邊 泰 造
- ・福山ブロック
福 勇 酒 井 實
- ・高屋ブロック
大 恵 山 瀬 藤 友 昭
- ・島根ブロック
照 雲 雑 賀 元 生
- ・上府ブロック
上 下 西 畑 珠 実
- 甲 井 山 田 敏 教

先日、春なのにくお別れですかというフレーズが耳に入ってきました。春といえば、別れ、出会い、桜、チューリップ(笑)
 卒業式、入学式、入社式など人生の節目として大切な時でもあるような気がします。
 春なのに、の春は、ときめきではない。なせか、なのという言葉の使い方に、惹かれていました。

自分の思いを大切なあの人に伝えられなかった胸の内、等身大の切なさ之歌われている曲です♪なんだかほろつときてしまうけど、さわやかな卒業ソングでしょうか？
 旅立ちですね。

この曲を作った中島みゆきさんも、歌い人、伝え人として、だれかに共感してもらえ、喜んでもらえるような思いをもって日々を、歩まれているのだと、改めて思いました。

音楽パワーは、大きいです。
 共感、癒し。懐かしい曲を聴き、一瞬にしてあの頃の私、40数年前に戻れるのですから。

ただ不思議なことに、聞く時と状況で、心の変化も感じる！

これもすごいですね。ちよつと成長した自分でしょうか？

みかぐらうたは、宇宙的交響曲、生命がおどるパワーのあるうただと、聞いています。生かされていることを喜び、だれかのことを思い、祈り、目の前の人に笑顔を届け、お道の明るさを伝えていければと、思います。

追伸、春なのに という曲は、天皇陛下も聴き入った曲とのことですよ。

(む)

三月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には暖かく果てしない親心とご守護により 日々は結構に恙なくお連れ通り下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 分けても今は厳しかった寒さも徐々に和らぎ日毎に春の訪れを感じられる中に 私共は日々朝夕に御礼申し上げつつ ご恩報じを思い念じて たすけ一条の御用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日は たすけの元立てとお教え下されたおつとめをつとめる定めの日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び心も一入に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて三月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げる状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませようお願い申し上げます

さてこの二月三月には部内教会へ巡教を行い 年祭活動三年目を陽気な心人をたすける心で通り切ることをお願いしました それぞれが締めくくりの年に相応しい成人をさせて頂けるよう歩ませて頂く所存です

また今は年度末に当たり おちばでは春の学生おちばがえりが開催され 笠岡では鼓笛合同練習 少年会おつとめまなび総会を開催致します このお道に繋がる子供たちにはしっかりと声をかけて 親の思いに近づく歩みを共に進めさせて頂きます

何卒親神様には お見せ頂く姿から親心を思案し たすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に更なる自由の御守護を賜り お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

春季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代會長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くにゑ刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長と共に道の上に真実を尽くされた役員 部内教会長 教人 よふぼく信者の神霊 新しく合祀されました笹尾正治大人 三島陽祐大人 川上道美大人 仙田勉大人 飯尾あやめ刀自 谷本篤子刀自 亀井毅大人 諸々の神霊の前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

祖霊様方には 教祖を通して親神様の御心とお働きを知り かしものかりものの喜び感謝の心から御恩報じの道をお通り下さいました 今日のお道が結構な姿をお見せ頂いておりますのは 親神様教祖のご守護お導きの賜物である事は申すまでもありませんが また一つには祖霊様方の真実の伏せ込みのお陰と 日々は朝夕にお礼申し上げると共に 祖霊様方にもお喜び頂きたいと 届かぬながらもたすけ一条の御用の上に努め励まして頂いております

その中にも本日は 春の霊祭を執り行う定めの日柄でございますので 御前に心づくしの種々の物を供えて 只今はおつとめ奉仕人一同 親神様の御前にてをどりをつとめさせて頂いた頂きました 続いて祖霊様方の御前に座を移し 在りし日を偲び御遺徳を称え お礼申し上げます 皆の真実の姿をご覧下さいまして 祖霊様方にもお勇み下さいませようお願い申し上げます

さて今年は教祖百四十年祭に向かう三年千日と仕切つての年祭活動三年目締めくくりの年として 一月には直轄教会への大祭参拝 二月三月には部内教会への巡教を行い 陽気な心 人だすけの心で通り切る事を伝え 成人の歩みを進める事を誓い合わせて頂きました

何卒祖霊様方には 教祖百四十年祭締めくくりの年に相応しい成人を目指して たすけ一条に励む皆の真実の状をご覧下さいまして 御心安らかに お見守り下さりお力添えを下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十八年 三月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり	おつとめ	地方	役割 区分		講話	扨者		祭主
												坐り勤	中村道徳		虫明立生	上原浩	
今川佐智子	武内正美	上原順子	谷内秀自	佐藤道孝	浅野明教	中村剛	吉岡壽	山野弘実	田中ますみ	前奥様	大教会奥様	上原繁道	前会長様	大教会長様	中村義太郎	虫明立生	中島誠治
三島照美	吉岡八恵	岡崎豊子	杉原善朗	中島誠治	佐藤真孝	上原繁次	高木昭祥	上原浩	田中つかさ	室悦子	谷内美知子	森本忠善	吉岡誠一郎	岡崎真一	中村道徳	岡崎真一	五月講話
上原千枝子	山野なつ	内海安子	田中隆之	山野弘実	山田敏教	内海史郎	赤木素志	浅野明教	中村初美	横山小智榮	門脇加津	横山逸郎	今川昌彦	門脇元教	岡崎治喜	田林久嗣	上原志郎
													前半	縦の伝道講習会	指図方		佐藤真孝
													後半		上原繁次		上原繁道

立教百八十八年 春季霊祭 祭典役割表

														役割 区分		扈 者		祭 主																	
胡 弓		三 味 線		琴		小 鼓		す り が ね		太 鼓		拍 子 木		ち ゃ ん ぽ ん		笛		て を ど り				お つ と め				地 方				前 半		後 半			
中 村 初 美		山 野 な つ		門 脇 加 津		岡 崎 真 一		田 林 久 嗣		吉 岡 誠 一 郎		杉 原 善 朗		中 島 誠 治		森 本 忠 善		武 内 正 美		前 奥 様		大 教 会 奥 様		上 原 志 郎		田 中 隆 之		大 教 会 長 様		佐 藤 真 孝		上 原 浩		前 会 長 様	
上 原 千 枝 子		田 中 つ か さ		吉 岡 八 恵		瀬 藤 友 昭		時 宗 一 実		雑 賀 元 生		津 森 朋 之		香 取 雅 人		藤 井 保 人		村 川 久 美 子		稲 月 稔 恵		藤 本 恵 子		掛 谷 宣 和		福 島 泰 道		桑 本 光 則		三 代 幸 徳		三 宅 道 大		丸 山 正 人	

詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

・ 詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、2日前までには、必ず詰所へご連絡ください。

・ 食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。

指
図
方

賛
者

門 脇 元 教	岡 崎 治 喜	上 原 繁 次
------------------	------------------	------------------

📁 詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

- ・詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、**2日前までには、必ず**
[詰所](#)へご連絡ください。
- ・**食事をしない(宿泊のみの)**場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。